

## 産業建設委員会記録

開会年月日	平成28年2月5日
開会時刻	午後0時58分
閉会時刻	午後1時11分
出席委員名	◎世古 明 山根 隆司 小山 敏 杉村 定男
	浜口 和久 山本 正一 佐之井久紀 宿 典泰
	中山 裕司議長
欠席委員名	野口 佳子
署名者	山根 隆司 小山 敏
担当書記	中田 隆人
協議案件	継続調査案件 コミュニティバスに関する事項 ・地域公共交通網形成計画について
説明者	都市整備部長、都市整備部次長、交通政策課長
	その他関係参与

## **審議の経過**

世古委員長開会宣言及び会議成立宣言後、会議録署名者に山根委員、小山委員を指名した。

直ちに議事に入り、継続調査となっている「コミュニティバスに関する事項」を議題とし、当局から報告を受け、若干の質疑を行い、引き続き調査を行うことで決定した。

なお、概要は次のとおりです。

開会 午後0時58分

◎世古 明委員長

ただいまから産業建設委員会を開会いたします。

本日の出席者は8名でありますので、会議は成立しております。

それでは会議に入ります。

会議録署名者2名を委員長において指名いたします。

山根委員、小山委員の御両名をお願いをいたします。

本日の案件は、継続調査となっております「コミュニティバスに関する事項」であります。

議事の進め方につきましては、委員長に御一任願いたいと思っておりますが御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎世古 明委員長

異議なしと認めます。

そのように決定いたしました。

## **継続調査案件 コミュニティバスに関する事項『地域公共交通網形成計画について』**

◎世古 明委員長

それでは、「コミュニティバスに関する事項」について御審査を願います。

「地域公共交通網形成計画について」、当局の報告をお願いいたします。

交通政策課長。

●岡交通政策課長

それでは、「地域公共交通網形成計画について」御説明させていただきます。

昨年11月24日に開催いただきました産業建設委員会において、地域公共交通網形成計画案について、パブリックコメントやコミュニティバス地域検討部会において意見聴取をさせていただき、後日報告させていただく旨を説明させていただいておりましたが、結果

がまとまってまいりましたので、本日御報告させていただくものでございます。

資料1の1ページをごらんください。

まず、「1パブリックコメント実施の結果について」でございます。

平成27年12月11日金曜日から平成28年1月15日金曜日の期間において意見募集を行いました。が、(6)の意見募集の結果のとおり、意見はございませんでした。

続いて2ページをごらんください。

「2コミュニティバス地域検討部会での意見」についてでございます。

(1)の開催状況のとおり、西部エリア、中央エリア、東部エリアの3カ所において、ごらんのような日程で開催をさせていただきました。

次に、(2)の検討部会で出された意見でございます。

この表は、左側に出された意見を、右側に形成計画案の該当する目標を記載しております。

続いて、内容について説明させていただきます。

目標②コミュニティバス運行の継続としましては、東大淀・日赤ルートは利用頻度が高い、運行の継続と便数増を願いたいなどの意見がございました。

3ページをごらんください。

目標③公共交通の利便性向上としましては、公共交通の見直しの中で施設の統廃合があった場合、代替施設までの交通手段が必要であるとか、循環バスの導入をなどの意見がございました。

次の目標②交通機関の連携による利用促進としましては、地域によってはタクシーを利用する人が多いという意見がございました。

次の目標①利用するきっかけの提供としましては、高齢者の外出支援により元気な人がふえる。支援策として公共交通を利用した花見やウォーキングなど、まちづくり協議会との連携も含め工夫されたしなどの意見がございました。

次の目標②わかりやすい情報提供としましては、総合時刻表について、字の大きさや色を工夫して見やすさを向上すべきなどの意見がございました。

今後、伊勢地域公共交通会議で御審議いただき、年度内に計画を策定していく予定でございます。

以上、「地域公共交通網形成計画について」御説明させていただきました。

何とぞよろしくお願い申し上げます。

#### ◎世古 明委員長

ただいまの報告に対しまして、御発言はございませんか。

宿委員。

#### ○宿 典泰委員

11月24日に産業建設委員会に出された資料ということで、伊勢市地域公共交通網形成計画についてということで、前回も少し質問もさせていただきましたけれども、この計画の大半は、コミュニティバスとそれにかわるデマンドであったりということが中心で、そのルート関係のことも若干出ておりますけれども、だから結果的には、パブコメをやっても

コミュニティバスの関係というのか、そこから抜け出せてないというような気がしてならんわけです。

この部会云々というところで、また人数等もお聞きをしたいと思うんですけど、参加人数ですね。

結果的には、そのエリア内のコミュニティバスの関係の方からの意見聴取というのか、それが極めて目立っていますよね。

当局側としての計画をつくる時に、どういった意図でつくられたのかなということをもうちょっと検証する必要があるのかなと思いますけれども、この全体的な地域検討部会、その他から出ておる意見に対して当局側のとらえ方というのは、どういうふうに捉えておるのかお聞かせをください。

◎世古 明委員長  
交通政策課長。

●岡交通政策課長

先ほど、今後の公共交通会議で最終的にという話を申し上げましたが、まず今回の地域検討部会で出された意見につきましては、今後、計画ができた段階以降でいろいろ考えていく上での参考意見として、貴重な意見として聞かせていただくということで、これに伴って計画案そのものの中身を修正していく必要はないんじゃないかというふうには、事務局としては考えております。

◎世古 明委員長  
宿委員。

○宿 典泰委員

結局、伊勢市の地域の交通体系というのをどうやって考えていくかというときに、コミュニティバスやらデマンドであったりとか、そういったことは公共交通の中の一部なんですよね。

ところがこの計画の中の大半はそれにおさまっておって、だからこれを見せられてパブコメをしたら、多分コミュニティバスを地域の意見も聞いてもっと本数をふやしてくれとか、ルートをもっとかえてくれとか、もうそういう話だけになってしまつとると思うんですよ。

そういうことで、これがいいのかなというような気もして仕方ないわけですよ。

当局側が今の現実のこの公共交通体系の中で、新公共交通の交通網として、例えば少し言われておる人もおりますけれども、路面電車を復活させることによっていろんなことが片づくというような案になるとかね、そんなことが出てきていいのかなと思うけれども、やはりこの計画の中を読ませていただくと、もうほとんどそれに終始しとるから、結果的には、パブコメの中で出てくる意見もこういうことだけなんですよ。

これがまた基本で、いわゆる実施計画というのか、会議で決められるということになったら、そんな大きな会議をせんでも、このコミュニティバスの運行事業についての反省点

をもうちょっとやったほうがいいんじゃないかなという気がしてならんわけですよ。

そのあたりちょっと御答弁いただきたいと思うんですね。

◎世古 明委員長

交通政策課長。

●岡交通政策課長

前回のときの御説明でも申し上げましたように、今回の形成計画のものは、交通政策基本法をもとにしてハード整備であるまちづくりの関係と、あと拠点を結んでいく公共交通という考え方の中で整理をさせていただくような説明をさせていただいたと記憶しております。

その中で公共交通の中には、今、委員長仰せのとおり路面電車等々もあろうかと思いますが、今回の公共交通につきましては、高速バスまで含めた路線バスと、あとコミュニティバス等のバスとタクシーというのが手段として考えられるであろうと、その中でどのように考えていくかという基本的な考え方をつくっていこうというのが今回の形成計画案でございますので、そのように私どもとしては考えております。

◎世古 明委員長

宿委員。

○宿 典泰委員

今、課長が述べられたような状況にはないと思いますよ、それは。

今後の公共交通体系を考えていく案ではないですよ、これは。はっきり申し上げて。

コミュニティバスと、だめならデマンドやりましょか、その他であれば地域のおかげバス等々というような話とか、沼木バスの運行のこともありましたけれども、それは公共交通の全般の中でできない部分を沼木バスで補ったり、コミュニティバスであると空バスばかりだからおかげバスをやりましょうというような話の中のことであって、伊勢市全体の公共交通の考えを将来に向けて示すということであれば、これは全然不満足ですよ。

これが実際には、パブコメの中でもっといろんな意見が出て、その集約としてこの計画案を今度の公共交通の会議にかけて、違う案というのかバージョンがアップできるんならそれは意味があると思いますけれど、この意見の出されたものをもとにしてまたやるということは、一緒のことやりますに。もう何年もこれやっとならぬんですから。何回も出しますんやで。

そのあたり変わるんですかね。

◎世古 明委員長

都市整備部次長。

●堀都市整備部次長

今回の地域公共交通網形成計画の基本的な考え方という中に、目指すべき将来像であり

ますとか基本理念、このあたりは、この伊勢の全体の中で踏襲されていく部分だと思えますが、正直申しまして、ここに記載されている部分というのが比較的細かい部分であったり、今委員おっしゃられたようにコミュニティバスとかデマンド、そういう細かい部分の記載がなされておるといことも事実でございます。

これから基本方針としてだれもが使いやすい公共交通を目指すというのは、これは変わらないことだと思いますので、そういうことをいま一度ですね、検討会の中でもお示しさせていただいて、計画をまとめていきたいと考えております。

◎世古 明委員長  
宿委員。

○宿 典泰委員

その点は今度の会議の中で、今言ったようなコミュニティバスの集約みたいな話ではなくて、将来において当然財政負担のことも裏にあるわけです。

人口ビジョンも示されていますね。人口が減っていくということで、高齢化になるということですから、そのことも踏まえながら、やっぱりこのビジョンとしては、この計画よりももっともって違う形のまとめ方をしていただかないと、なかなか将来の公共交通とは言えないと思うんですよね。

路面電車があるかないかというのは、それは別の話ですよ。

だけど、そういうことを利用しながらいろんなところを整理していこうというのが、こういう計画のあり方やと思うんですよ。

そのあたりだけ注文をさせていただいて終わっておきます。

◎世古 明委員長  
他に発言はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

◎世古 明委員長  
御発言もないようですので、報告に対しての質問を終わります。  
続いて委員間の自由討議を行います。  
御発言はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

◎世古 明委員長  
御発言もないようですので自由討議を終わります。  
以上で、「地域公共交通網形成計画について」を終わります。  
「コミュニティバスに関する事項」につきましては、引き続き調査を継続していくということで御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎世古 明委員長

御異議なしと認めます。

本件については引き続き調査を継続いたします。

以上で御審査いただきます案件は終わりましたので、産業建設委員会を閉会いたします。

閉会 午後 1 時11分

上記署名する。

平成 年 月 日

委 員 長

委 員

委 員